



書 浜田尚川氏

高齢者の
元気な働きで
明るい社会

No.94

発行／公益社団法人高知市シルバー人材センター 〒781-0802 高知市丸池町1-1-14

TEL088-882-3839
e-mail kochi-sc@sjc.ne.jp

2024・7



も
く
じ

第44回定時総会	2	3
感謝状・会員表彰・定時総会を取材して	3	
令和5年度ブロック総会	4	
ブロック総会を取材して	5	
新ブロック長にきく・事務局からお知らせ	5	

お城下歴史探訪・退職のご挨拶	6
会員紹介・旭地域の活動	7
会員ひろば	8

シルバー人材 高知

検索

「高知市シルバー人材センター」
スマホで読み取り▶





令和6年度

第44回 定時総会

日時：令和6年5月30日（木）13時30分
場所：高知会館 2階 白鳳の間

会員総数	1,029名
委任状提出者	575名
出席者	161名

理事長挨拶



古味 勉
理事長

本日は、令和6年度高知市シルバー人材センター定時総会にご出席いただき、誠にありがとうございます。

総会開催にあたり、一言ご挨拶申し上げます。

まず、会員の皆様、日々の就業や地域活動などにシルバー人材センター会員として活躍いただいていることに、心より感謝申し上げます。

また、公務ご多忙の中、ご臨席賜っております高知市長桑名龍吾様をはじめとする高知市並びに高知市議会、高知労働局等の関係機関の皆様、日頃のご支援・ご協力に感謝を申し上げます。

そして、本日の総会に併せま

て感謝状、表彰状を贈呈させていただく皆様、これまでの当センターへのご支援・ご貢献に心から感謝申し上げます。

さて、私たちの高知市シルバー人材センターの状況でございますが、契約実績は昨年度も増加傾向が続く、第三次中期計画の契約目標額を達成するとともに過去最高額を更新いたしました。

会員数については、昨年度3年ぶりに減少から増加に転じていますが、増加は僅かであり厳しい状況が続いています。

そして、好業績の一方で業務上のトラブルや就業中の転倒等の事故の発生が増加しています。また、昨年10月に施行された消費税インボイス制度に続き、今後はフリーランス新法の施行に伴うシルバー事業の契約関係の見直しやデジタル化への対応など、対応すべき大きな課題にも直面しているところです。

こうした中で今般、令和6年度からの5年間を計画期間とする新たな計画、第四次中期計画を策定

したところであり、会員拡大と併せて業務の質の向上や安全就業の強化などの課題への対応、必要な変革への取組を進め、引き続き「地域に信頼されるシルバー人材センター」として、事業の発展を目指すこととされているところです。

現在、高知市の高齢化率は既に30%を超えています。今後もさらに少子高齢化、長寿化が進展していく社会では、高齢者の元気が地域の元気につながります。高齢者が元気で充実した生活をしていくことが将来に不安を感じる若い世代を前向きな気持ちにさせ、少子化など多くの社会的課題への対策にもつながると考えています。

その中で、シルバー事業は、就業を通じて高齢者の生活を健康的で充実したものにしていく事業として、今後もさらに発展をさせていくことにより、高知市の元気、地域の活性化に貢献していきたいと考えています。

皆様には、引き続きご支援、ご協力をどうかよろしくお願いいたします。

結びに、これから季節は、間もなく梅雨入り、そして真夏へと過ぎづらい時期となっております。皆様には体調管理に十分留意をされ、ご健勝で活躍されますことを祈念いたしまして開会に当たりましてのご挨拶いたします。

市長祝辞



桑名龍吾
高知市長

本日は、公益社団法人高知市シルバー人材センターの第44回定時総会が盛大に開催されることを心より喜び申し上げます。

久しぶりにお会いする方や知った方が多く、皆様が元気に活躍されていることを大変嬉しく思っております。

シルバー人材センターは昭和56年に発足し、40年以上にわたり自主・自立、共働・共助の理念のもと高齢者が働くことで健康と生きがいを求める組織として活動を続けておられます。今後のご発展をお祈り申し上げます。

高知市の現状についてお話しします。人口減少問題が取り沙汰されますが、高知市でも年間約3千人の人口が減少しています。これは奈半利町や本山町のような自治体が毎年消滅しているようなもので、少子高齢化の進行により、働き手の減少や人材不足が深刻な問題となっております。特に公共交通機関の運転手不足が顕著で、バス路線廃止が問題化しています。



運転手がいないため公共交通機関が維持できなくなると、市民の移動手段が失われる深刻な問題となります。

このような問題を食い止めるため、国や県、市が子育て支援や若者支援、定住支援、移住支援に力を入れていきます。高知に移り住んでもらい、働いてもらうことを進めています。

今後求められるのは、高齢者の皆さんにもっと働いていただくことです。皆さんは豊富な知識や技術を持っておりその役割はますます重要です。我々行政も高齢者が働きやすい環境を作るために支援をしてまいります。

昨年11月30日に市長になり、今日で半年が経ちました。前任の岡崎市長の思いを継ぎつつ、新たな施策を加え、安定した高知市政を築いていきたいと思えます。皆さんのご協力をよろしくお願い申し上げます。

最後に、子供たちが安心して育つことができる高知市を目指し、各世代が支え合う共生社会を創っていききたいと思えます。シルバー人材センターの役割はこれからますます重要ですので、どうかお力を貸していただきますようお願い申し上げます。ご挨拶とさせていただきます。ありがとうございます。

(要約文)

◆発注者感謝状 3団体

(令和5年度実績)

有限会社黒潮清掃工業
株式会社サニーフーツ
寿司一貫事業部
医療法人高潮会栄養課

(敬称略)

◆会員一般表彰

(令和5年度実績)

山崎 高志さん(春野ブロック)
岡村 富江さん(秦ブロック)
戸田 勝清さん(城東ブロック)
山本 正一さん(春野ブロック)
永野 栄子さん(秦ブロック)
中岡 製婆雄さん(秦ブロック)
岡本 京子さん(二宮ブロック)
小八木 一廣さん(三三三ブロック)
梶原 由紀さん(三三三ブロック)
長野 道夫さん(朝倉ブロック)

◆会員特別表彰

(令和5年度実績)

秦 勉さん(鴨田ブロック)
横川 徹さん(長浜ブロック)
古川 啓子さん(長浜ブロック)
安岡 信江さん(長浜ブロック)
木村 重孝さん(潮江ブロック)

◆会員功労表彰

(令和5年度実績)

片岡 静夫さん(朝倉ブロック)
青山 登さん(潮江ブロック)
本木 昌子さん(旭ブロック)
岸本 博文さん(江ノ口ブロック)

◆理事長表彰規定

(表彰の種類)

第3条 前条の表彰は、次のとおりとし、該当する者に対して行う。

◆会員一般表彰

センター会員の在籍期間が3年以上で、就業実績が優秀で他の会員の模範となる者

◆会員特別表彰

センター会員として、15年以上在籍し、センター事業発展に寄与した者

◆会員功労表彰

ブロック活動において、ブロック長や班長・副班長として5年以上在籍し、センター事業発展に寄与した者

◆その他

理事長が特に必要と認めたる者

◆退任役員特別表彰

野村 卓司さん(学識経験者)
和田 絹代さん(長浜ブロック)
小笠原泰英さん(初月ブロック)

定時総会を

取材して

司会の藤崎靖啓さんにより、規定による総会の成立が確認され開会しました。理事長挨拶、市長と労働局長(代読)による祝辞が続ぎ、発注者3団体に感謝状が贈られ、会員一般・特別・功労の各表彰計19名に表彰状が授与されました。

議長に西郷泰和さんを選出、議長により議事録署名人と書記の指名があり、本題に入りました。議案書の次第に従って報告と議案審議がなされ、原案どおり承認可決されました。合わせて、退任する3名の理事が特別表彰されました。審議の過程で「雑収入の金額・預貯金の口座数・配分金の明細発行・理事承認の決議方法」について質問・意見があり、事務局から現状に即して回答がありました。ある会員から「会のために、平等な就業情報・機会の提供を訴えてきたが、不公平感が変わらないホームページ・広報誌を活用して会員の要望に具体的に答えてほしい」と切実な意見が述べられました。お互いの意思疎通の大切さを感じました。

閉会宣言の後、淀家萬月さんによるアトラクションがあり、大いに笑って全日程を終了しました。(重松)



令和5年度 ブロック総会

3月21日開催の秦ブロック総会の記事は第95号にて掲載いたします。事務局

江ノロブロック



3月19日(火) 午後1時半～3時半
江ノロコミュニティセンター
会員15名 事務局2名

ブロック長人事が難航し一旦引野ブロック長の留任となりましたが3月26日の役員会にて、新ブロック長に宮野信久氏、2班班長に福岡修氏が選任されました。

三里ブロック



3月13日(水) 午前10時半～11時半
三里ふれあいセンター
会員20名 事務局2名

上杉ブロック長の開会宣言に続き、藤原局長から現状報告がありました。役員改選はブロック長一任で、決定後に報告となりました。質疑応答では活発に意見が交換されました。

潮江ブロック



3月13日(水) 午後2時～3時半
高知市立潮江市民図書館
会員11名 事務局2名

藤原局長より現状報告の後、役員改選があり承認されました。質疑応答では事務局に対し厳しい質問が多く会員の真剣さが伝わって来ました。詳しくはP5の記事を参照。

長浜ブロック



3月27日(水) 午前10時～12時
高知市立自由民権記念館
会員12名 事務局2名

役員改選、会計報告の承認の後、参加者全員の自己紹介をしました。その後の質疑応答では、事務局に対して活発な発言があり、その内容はP5の記事に掲載しています。

城西ブロック



3月22日(金) 午前10時～11時半
高知市小高坂更生センター
会員11名 事務局2名

岡村ブロック長の開会宣言に続き、出席者全員の自己紹介がありました。役員は留任で承認され、会計報告は後日に報告となりました。

春野ブロック



3月21日(木) 午前11時～12時
高知市春野あじさい会館
会員7名 事務局2名

役員改選は全員留任で承認され、会計報告は後日報告となりました。質疑応答では、会員からいきがい高知を配る際に地図を添付してほしいといった要望が出ました

大津介良ブロック



4月19日(金) 午後12時～1時半
高知市介良 レストラン旬家
会員18名 事務局2名

昼食をとりながら和やかな総会でした。役員は班長が交代した他は留任で会計報告も承認されました。出席会員の自己紹介と就業状況を発表して閉会しました。

高須五台山ブロック



3月29日(金) 午前10時～12時
高知市東部健康福祉センター
会員19名 事務局2名

長崎ブロック長の開会宣言のあと、基幹型地域包括支援センターの渡邊保健師が「健康を保つ秘訣」というテーマで講習会をおこないました。役員改選はブロック長一任です。

初月ブロック



3月28日(木) 午前11時～午後12時
初月ふれあいセンター
会員8名 事務局2名

役員改選は全員留任で承認され、5年度ブロック活動報告・会計報告も承認されました。質疑応答のなかでシルバーの独自性が徐々に認められなくなる状況が懸念されました。



ブロック総会を

取材して

3月になると各ブロックが一斉に総会を開催し、編集部は取材に東奔西走しました。毎年3月はブロック総会が多数あることは予想していましたが、今年は例年以上に集中していました。

編集部は手分けして、できるだけ多くのブロック総会を取材してきました。そして、多くの会員の生の声を聞くことができました。それは事務局に対しての要望や不満、提案や改善策、ねぎらいや感謝の言葉でした。

今、高知市シルバー人材センターは消費税インボイス制度、フリーランス新法施行などの対処で苦慮しています。事務局長は全てのブロック総会に出席し説明をしました。が複雑な内容で、はたして会員さんほどの程度理解できたでしょうか。編集員も漠然としたイメージしか描くことができませんでした。

この様な状況下、事務局は限度を超えた業務に追われているようです。事務局の負担を減らすには、業務上のトラブルや就業中の事故の発生をなくすことで、本来の業務に集中してもらおうのが一番の近道ではないかと思いました。(池田)

新ブロック長にきく

消費税インボイス制度、フリーランス新法の施行などシルバー人材センターを取り巻く環境は大きく変わろうとしています。この様な状況の中、各ブロックでは役員改選が多くあり、新ブロック長が次々と誕生しました。そのため、編集部では「ブロック長にきく」という取材記事に並行して、新たにブロック長になられた方々の取材をスタートしました。



一宮ブロック長 立仙 貴俊さん

令和5年度のブロック総会は新ブロック長として初めての総会でしたが、あまり段取り良くできなかったと反省の弁でした。しかし、事務局のフォローは良好で、とても感謝しているとのことでした。

杉本前ブロック長からの引き継ぎはうまくいったそうです。分らないことがあるとその都度前ブロック長に確認しながら進めたそうです。あまり戸惑うことはなかったそうです。杉本前ブロック長が何冊ものノートにびっしりと記録を残しているのは有名で、立仙さんは随分参考になったと言っています。

ます。

一宮ブロックは会員80名で新入会員が多いのが特徴です。立仙さんは新入会員さんには自分で「いきがい高知」を持って行き、できるだけ会うようにしているとのこと。

ことも無げに言いますが、広いブロックエリアなので大変なご苦労だと思えます。この様なブロック長自身の活動が就業率を平均以上に維持しているのだと思えました。

そんな立仙さんの前職は警察官です。今や好々爺の雰囲気満載ですが、目の奥にある鋭い光を編集員は見逃しませんでした。

現役時代は高知の黒歴史と言われる「山一抗争」の真只中。家には帰れず、命を張った毎日。我が子の成長さえ見ることができなかったそうです。長男、長女、二女を一人前にしてくれたのは妻だと感謝していました。

3人のお子さんは全員家庭を持っていますが、3家族とも警察関係なのが言わずもがなで、父の背中を見て育ったのでしょうか。というより、奥様のフォローが相当よかったのだと思います。

立仙さん、感謝の言葉は直接奥さんに言ってお下さい。「まったく：立仙さんはシャイだからなあ」と編集員の独り言でした。

(池田)

熱中症見舞金制度

のご案内



今年も暑い季節となりましたが、お仕事に頑張っていただきありがとうございます。

最近、熱中症になられる会員さんが増えたように感じます。そこで、ささやかですが熱中症対策として草刈り、庭木の剪定、樹木の伐採等の作業中や、就業場所の行き帰りにおいて熱中症になった場合に、見舞金をお支払いする制度を始めました。

令和6年6月1日から補償対象となります。申請に診断書の必要はありませんが、医師により熱中症と診断された場合に対象となります。

熱中症になられた際はまず担当まで速やかにご連絡ください。

- 日帰り通院治療…… 五千円
- 1泊2日の入院…… 三万円
- 2泊3日以上入院…… 五万円
- 死亡見舞金…… 十万円

となっております。

お仕事の際は定期的に休息を取りながら、こまめに水分と塩分の補給を心がけて体調に気を付けていただくようお願いいたします。





南風舞う 銀杏の木の下で

鴨田ブロック 石川二男さん



江戸時代の鏡川は大雨のたびに氾濫。周辺に多くな被害をもたらした「暴れ川」と称されていました。それを鎮めるため幼い少女が人柱として沈められたと伝えられています。この史実に基くお話です。

北西に遠く水源の森、工石山くいしやまから流れ出て浦戸湾へと注ぎゆく鏡川。その数キロほど上流にある朝倉堰の西提に、太い腕を空いっばいに張って、得体のしれない情念を阻もうと憤怒している大木があります。その下に佇み川面を見渡せば、この木は銀杏だが発音は「イちよウ」と風がささやく。「ああ、ちよ」と強く言いたいのですね」と問えば「ちよ地蔵を知らぬなら聞かそうか古い話だが」と風は舞い数枚の緑葉をあせた祠の上にと落とした。

祠の中には「ちよ」と「ちよの母」の全国的にも珍しいと言われる母子二体の地蔵が鎮座し

ていました。風の話は、江戸時代の終盤まで遡ります。その頃の鏡川は、夏季の頃は堤防が決壊して朝倉村や鴨部村などに多大な被害を及ぼしていたそうです。田畑も人家も被害に遭い村人達は難渋したといえます。

そこまで話したとき風は泣いて、辺りはいきなり白けた灰色の世界に変わりました。すると「ちよ、おつ母の面倒はわしら村の者がみるから心配しないでくれ」と、村役人たちが十三歳の少女に向かって懇願している姿が、川面に映し出された。「人柱となつて、お怒りの水神様を静めてくれ」と、村人たちも説得している。「ああ、ちよ」そばで母は、胸を震わせ泣き叫んでいるような情景が浮かぶ。白羽の矢がたつた者はもう逃れられない。「村人のためなら、母を頼む」とちよは家を出た。人柱となる幼い小さな背中が、鏡川に消えゆく。

その後、村人はちよとの約束を忘れてしまったため、残された母は一人寂しく亡くなったそうです。それから大雨が降り鏡川は水があふれて、村々に甚大な被害をもたらした。村人は人柱となつたちよとの約束を思

い出し「罰があつた」と恐れおののいた。そして嘉永七年二月に、朝倉堰の見える堤の上にに祠を建て、母子二体の地蔵を祀つたのだそうです。

この由来が、県道273号線上の路肩に建てられた祠の背板に書かれてありました。風がまた頭上でささやく「お前の孫を人柱に出せ」と言われたら何と答えるかと。再び二体の地蔵を見つめた。ちよの愛らしい口元は、愁いを浮かべて微笑んでいます。その横の母の顔は涙で白く腫れあがり、あせて頬に被さっている様に見えるのです。

その昔、幼い命を捧げてしまつたこの事実を、市井の人々は「歴史の中で出来事だつた」と抽象的ですが、私たちの祖先は、生き残るための犠牲と必要最小限の糧を底辺に求めて、必死に生きていたのです。そんな時代に遡り現代人が現場に行つて、村人に「やめろ」と喚起したとしても、おちよさんは「わたくしで、いいのです」と静かに微笑み泥水に沈んでゆくことでしょう。「おちよという子はな…こんなにも可憐な愛おしい少女だつたんだぞ」と、大銀杏は祠をかばいながら風と語り合い、頑張っているように思えるのです。

退職のご挨拶



業務アドバイザー
田村和彦さん

この度、私事ですが6月末をもって高知市シルバー人材センターを退職することとなりました。在職中は、会員の皆さんはもとより役員の方々の支えもあつて40年という時間を過ごさせていただきました。心より感謝申し上げます。

私が入局した昭和58年は設立3年目をむかえ、高知市では「くろしお博」が開催された年でした。当時は局長含め職員6名というこじんまりとした所帯で運営していました。この40年の間、社会の変化に合わせてシルバー事業もいろいろ変わってきましたが、そこにはいつも会員さんたちおひとりおひとりの努力で地域に愛され、必要とされてきました。

そのシルバー事業に微力ながら携われたことは自分にとって非常に価値あることと感じています。どうぞこれからも社会の変化に柔軟に対応して、いつも地域に必要とされるシルバー人材センターであつてほしいと思います。



会員紹介

丸岡さんの「愛妻物語」

「宮ブロック」

丸岡 健志さん



「大事にしてあげないと、彼女の人生はいつたい何でしょうか」。アルツ

ハイマー型認知症の奥さまのお世話をしながら就業に励む丸岡会員の言葉は、じわりと心に響きます。それは決して重々しくなく、きつぱりと覚悟を決めた爽やかさがあり、お人柄を感じます。

室戸市佐喜浜町が丸岡夫妻のホームタウンです。小・中学校でずっと同級生、続いて当時活発だった青年団活動につながります。奥さまのお兄さまがガキ大将で、弟分の丸岡さんは兄貴分の妹さんとも親しくなり、結婚に至ったのは自然の流れでした。奥様は体力のある活発な女性でした。足腰もすっかりしており、水泳が大好き、丸岡さんが挑んでもとてもかかいません。65歳まで週2回の練習に通いま

した。2人の息子さんを立派に育て上げ、実家のご両親のお世話をし、さらに、丸岡さんのご両親を15年間介護し看取ってくれました。

ところが、4・5年前に認知症と判明。最初は戸惑いましたが、今ではデイサービスやショートステイを利用しながら、息子さんたちと力を合わせて、サポート態勢が整っています。協力的で頼りがいのある息子さんたちと彼らを育ててくれた奥さまは丸岡さん自慢のファミリーです。

丸岡さんの本職は自営の土木工事です。バブル期に大阪でその後高知に拠点を移し活躍しました。引退してシルバー会員に。今は会員としてある学校法人の美化作業に週4回就業しています。この学校は息子さんたちの母校で、設立時にグラウンド整備やフェンス設置をさせて頂いたご縁がありました。深いつながりを感じ、感謝を込めて就業しているとのこと。

「仕事をしないとボケます。間もなく後期高齢者、自分の体を認識したうえで、可能な限り働きたいです。介護との両立は、覚悟を決めた時自然に出来るよ

うになりました。自分の気持ち次第です」と丸岡さん。頑張れる秘訣をお聞きすると「佐喜浜の仲間たち！」と即答。

おふたりの気持ちはしっかりと佐喜浜に根付いています。週に1回、往復200kmのドライブで佐喜浜を訪れます。そこには同級生たちや幼少時からずっと見守ってくれた温かい人の輪があります。丸岡さんは、何でも相談できて、ありのままを受け入れてもらえる仲間たちを生涯大切にするつもりです。

奥さまは日ごろと違って、佐喜浜へ行くのは理解できます。その日は上機嫌、笑顔がこぼれます。この笑顔こそ丸岡さんの大きなエネルギー源なのですね。心温まる「愛妻物語」をありがとうございました。（重松）



旭地域の支えあい

助けあい活動

旭ブロック

山本 学さん

旭地域で「ほおつちよかん旭を目指して」をテーマに、支えあいフォーラム・イン旭が3月15日にこうち男女参画セン

ター「ソール」で開催されました。住み慣れた地域で安心して暮らせるよう、地域の関係団体や専門職50人が参加して、困りごとの解決策について意見交換を行いました▼まず、高知市地域共生社会推進課の山下氏が問題解決型の地域づくりや、今後の高知市の展開について基調講演を行いました。続いて旭レンジャーが少子高齢化の問題を演劇化し、旭地区の大きな課題を参加者と共に考えました▼「困りごとトランプゲーム」では、相談内容をグループで分担して解決策を議論しました。相談内容は介護、障害、子育て、生活など多岐にわたり、シルバー人材センターが対応できる部分も多くありました。グループはシルバーに依頼する方法について質問し、事業内容や手順の説明を受けました▼令和三年の高知市シルバー人材センターのアンケート調査では、地域の公的機関や介護福祉の分野での就業希望が多くありました。シルバー会員の就業が地域を支え、困りごとの解決策になるとし、地域の会員が就業機会を拡大し、自ら就業を創出する仕組みを進めていく必要性が感じられました。



Photo Gallery

美しい花々の中に
シルバーの文字
初月ブロック 長崎美那子

作品
募集中



連休後半、中央公園を通過して大丸に行こうと公園北口を入ると、恒例の「春花まつり」を開催中。突然「シルバー人材・・・」の文字が。一瞬足を止めるも、急いでいたのでそのまま通過。その夜気にかかり、翌日再度出向き写真を撮りました。巨大壁に色とりどりの花々がはめ込まれ、訪れた人達がスマホに納めていました。
(イベント出展：高知県シルバー人材センター連合会)

会員ひろば



愛犬のひとり言

岡崎 茶太郎
(代筆 岡崎 忠顕)
旭ブロック

僕の名前は茶太郎です。9月7日で13歳になるミックスのシニア犬です。思い返せば14年前、孕の小動物管理センターで保護犬としてお母さんのお腹の中に宿っている時に捕らわれ、そこで3兄妹と共に誕生しました。縁あって心優しい岡崎家の一員として生後一ヵ月位の時に岡崎「茶太郎」なる名前を拝名した次第です。幼い時は河原やドッグランに連れて行ってもら

い思う存分走り回って遊んでもらったヨ。近所の方々にも「茶太、茶太」と言っていてとても可愛がってもらっています。散歩は早朝4時、夕方の4時、夜の8時頃の一日3回。朝は家から西回り、夕方は東方面から公園経由で、夜は北へ降りて一周したり、3回とも別のルートを僕が考えて歩いていきます。僕が一番苦手なのは、シャンプーに連れていかれること。ご主人様と離れるのが寂しくてずっと鳴いています。迎えに来てもらった時「カスレ声」になっているのですがすぐバレます。一番嬉しいことは、お腹を出すと皆が「ナデナデ」してくれる時です。取り合ってくれない時は敷物を

噛んで困らすとすぐ撫でてくれます。お座り、待て、バイバイねんね、ふせ、これ位のことは身に付いています。散歩の後にはご主人様が、いつもブラッシングしてくれるので「毛並が綺麗ね！」と皆が撫でてくれシニア犬にしては若く見えると言ってもらえるのが僕の自慢です。ご主人様も高齢になっていますが、僕との散歩のお陰で一日五千歩以上歩けるし散歩途中に犬仲間と立ち話することで、健康と情報収集することも出来て一石二鳥と喜んでみるみたいです。ご主人様と僕と、どちらが長生きできるかなー。と思いつつも、今日も散歩をおねだりしている僕です。

配分金支払日・入会説明会予定日 令和6年7月~10月の予定

◎配分金支払日

令和6年

- 7月16日(火)
- 8月15日(木)
- 9月17日(火)
- 10月15日(火)

◎入会説明会

令和6年

- 7月16日(火)
- 8月19日(月)
- 9月17日(火)
- 10月21日(月)

(原則、第3月曜日
午前10時~11時30分)

編集室

■新年度となり編集部は2名の方々に参加していただきました。4名でがっちりスタラムを組み会員さんに寄り添った会報誌をつくり続けてまいります。ご愛読をお願いいたします。(池)

■この期間は多くの会が開かれ会員さんたちの声がきかれました。その声を生かす私たちの役割を考えます。待ちに待った新しい仲間たち、ようこそ！新しい風が吹きますように。気候不順の初夏、気持ちだけは爽やかに。(重)

■子供のころから作文が嫌い。おまけに悪筆で書くのが大嫌い。それで40年前にPCを購入してプログラミングにはまりました。おかげで作成した多くのソフトが仕事に役立ちました。PCに関する仕事ができればと入会しましたが、一番苦手な編集員に。手書きにも挑戦！(小)

■初めまして：「いきがい高知」を知ったのは一ヵ月前。何もかもフレッシュで生まれたばかりの赤ちゃんの様に右も左も分かりませんが、持ち前の「明るい笑顔と張りのある声」で頑張ります。編集長、編集員の方々、そして、なにより会員の方々よろしくお願いたします。(山)